

令和6年度 若栗小学校アクションプラン -2-

重点項目	健やかな体の育成（体）	
重点課題	メディアとの上手な付き合い方（メディアコントロール）の推進	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に長時間テレビやYouTubeを視聴したり、ゲーム機やスマートフォン等と接したりする児童が多く、児童の健康面や学習面で様々な問題に結びついている。そこで令和元年度から毎月0のつく日を「ノーメディアデー」とし、児童の健全な生活習慣の形成を目指して取り組んできた。令和3年度からは「メディアコントロールデー」と改称し、電子媒体全般と適切な距離感を保ちながら自己調整し、接することができるようになることを目指してきた。その結果、少しずつ意識の高まりが見えてきたが、全体の達成率はまだ低い。</li> </ul>	
達成目標	「メディアコントロールデー」の取組として、家族と決めたメディア視聴のルールを守り、「できた」と自己評価した児童が80%以上になることを目指す。	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動等の保健指導と結び付けながら、メディアコントロールを呼びかけ、児童に意識させる。毎月0のつく日をメディアコントロールデーとし、毎学期、家庭と相談しながら目当てを決めて取り組む。また、本年度は、家庭におけるメディア以外の取組のよさをカードやタブレットに累積したり、昼食時にランチルームで紹介したりすることで、メディアコントロールデーへの意欲付けにつなげていく。学期末には、自分の目当てが達成できたか家族と振り返る。</li> </ul>	
達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「メディアコントロール」の自己目標を達成できた割合（全校） 1学期 80% 2学期 85% 3学期 %</li> </ul>	
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「メディアコントロールデー」の効用を啓発するプリントを家庭に配付したり、学級指導や保健学習で児童に指導したりした。</li> <li>・毎月10日、20日、30日に「メディアコントロールデー」を設定し、給食時の放送で、保健委員会がメディア以外の楽しみ方を考え実践することを勧めた。</li> <li>・全学年、学期初めには生活計画を保護者と一緒に立てた。それを下に、家族とメディアとの付き合い方やコントロールデーの過ごし方の約束を再確認し、メリハリをもった生活を意識できるようにした。個々に実施状況をカードに記録し、自分自身の評価をした。</li> <li>・学期末に自分の振り返りの言葉や家族からの励ましの言葉を記入した。担任は学級児童の実態を常に把握し、目標に達していない児童への励ましを適切に行っていた。</li> </ul>	
評 価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、保護者が評価するのではなく、児童自身が自分の実態に合わせて目当てを立て、自己調整できるように取り組んだ。全校児童の達成率は %であり、目標としていた80%以上を達成することができた。3学期までの数値を比較すると、1学期は、取組自体が真新しいことで、意欲的に頑張る児童も多数いたが、2学期に入り意欲が持続できていない児童もいた。3学期は少し向上し、年間を通しての達成率は %となった。</li> <li>・取組の様子やカードの記述を合わせて見直すと、児童は少しずつ自分のメディアコントロールの力を向上させるために、自分の実態と向き合い努力しようとしていることが分かる。</li> <li>・今年度は、各家庭でのメディア以外の取組のよさをカードに書いて全体に広めたことで、メディアコントロールデーの意識改革を図ることができた。互いの活動を知ること、視野を広げたり、自分の生活にも生かそうとしたりする児童もいた。学校アンケートや懇談会の際には、これらの取組が保護者からも好評であった。</li> <li>・メディアとの関わり方を自分と家族で決めて実践してきたのだが、意欲が持続できない児童も見られた。今後もメディアの約束をしっかりと守ろうとする心を育てる必要がある。</li> </ul>
次年度へ向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の実態に合わせた各家庭でのルールを設定し、児童が自己調整する力が必要である。継続して家庭への啓発、児童への指導を行っていきたい。</li> </ul>	